

ふくおか@ふくし

Welfare of Fukuoka



ポスター及び赤い羽根キャッチフレーズ等
記者発表の様子（関連記事8頁）

今号の内容

- P 1 福祉人材の採用や定着に向けた取組
- P 4 地域ボランティア活動支援のための助成事業助成団体決定
- P 5 不登校児童生徒の居場所づくり
- P 6 キラリ☆地域のふくしびと
- P 7 赤い羽根共同募金
- P 9 ふくふくINFO

じぶんの町を良くするしくみ

赤い羽根共同募金

この広報誌は、一部共同募金の
配分金を受けて発行しています。

ふくおかのふくし 186号 発行所／福岡県春日市原町3丁目1番地7 福岡県社会福祉協議会
TEL(092)584-3377 FAX(092)584-3369 発行日／2022年(令和4年)9月30日 編集発行人／酒見俊夫 印刷所／株式会社インテックス福岡

UD FONT 見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

令和4年度

<https://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

検索

ボランティア活動保険



保険金額・年間保険料（1名あたり） 団体割引20%適用済／過去の損害率による割増引適用

プラン		基本プラン	天災・地震補償 プラン	【新設】特定感染症 重点プラン
保険金の種類				
ケガの 補償	死亡保険金		1,040万円	
	後遺障害保険金		1,040万円(限度額)	
	入院保険金日額		6,500円	
	手術保険金	入院中の手術	65,000円	
		外来の手術	32,500円	
	通院保険金日額		4,000円	
	特定感染症		補償開始日から10日以内は補償対象外 ^(*) 初日から補償	
地震・噴火・津波による死傷		×	○	○
賠償責任 の補償	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)	
年間保険料		350円	500円	550円

*4月1日付で前年度から継続して契約される場合は初日から補償します。

＜基本プランに加入される方へ＞

基本プランでは、地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。

◆年度途中でボランティア活動保険に加入する場合には「特定感染症重点プラン」への加入をおすすめします。

例えば、被災地での災害ボランティア活動や当初予定していなかったボランティア活動への参加にあたり、新型コロナウイルス感染症をはじめとした特定感染症への備えとして、特定感染症重点プランに加入いただきますと、より安心してボランティア活動に参加いただけます。

ボランティア行事用保険（傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険）

送迎サービス補償（傷害保険）

福祉サービス総合補償
(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL:03(3349)5137
受付時間：平日の9:00～17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL:03(3581)4667
受付時間：平日の9:30～17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)



県社協が実施する就職フェアでは、施設からのライブ配信を企画するなど、求職者に注目される「ツール」を準備し、施設見学や面接までの動機形成を行っています。

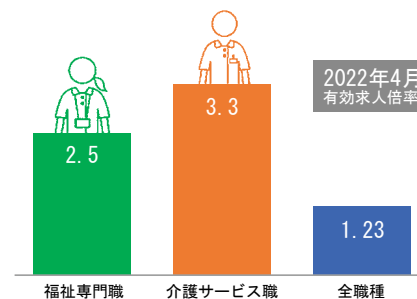
また、面談時には、施設の良さだけでなく、働く中での悩み等も伝えながら、私たちの法人に入職する事が、求職者の「目標」「実現したい事」「夢」への最短距離になっているかを確認し、求職者の意向とのマッチングを心掛けています。



Action 3 就職フェアなどの就活イベントに参加

「求職者を惹きつけるためにチャレンジしていることは？」

福祉人材の採用や定着に向けた取組



2022年4月における有効求人倍率は、介護サービス職が3.3倍、社会福祉専門職が2.5倍と、介護・福祉業界の人材不足は依然として厳しい状況にあります。

中長期的には高齢化の進展、施設数の増加により、介護・福祉業界の人材ニーズがさらに高まる中で、質の高い福祉サービスの提供を維持・拡大していくためには、人材の確保や定着、能力を発揮できる環境整備も併せて求められており、施設・事業所には、必要な人材を明確化し、その人材を採用・育成するための取組が必要です。

今号では、このような現状に対応すべく、「人材開発チーム」を結成し、採用活動や職場環境の改善等を進めている社会福祉法人多々良福祉会の取組を紹介いたします。

Action 4 面接・採用までのアプローチ

当法人では、実習生として受け入れた学生から採用に繋がることが多くあります。

実習生を年間10〜20名受け入れており、養成校教員と情報交換しながら、実習後もアルバイト希望の学生の受け入れや実習生向けの見学会などを行っています。当法人への入職希望の有無に関わらず、LINEなどによる就職サポートも行っています。

また、就職フェアなどの就活イベントの翌日には、面談時の補足説明や施設見学・法人説明会の案内をメールするなど、次に繋がるような取組は必ず行っています。



Action 1 人材開発チームを発足

働きやすい職場環境の構築や人材確保・育成等の組織改革を法人全体で取り組むため、平成30年に「人材開発チーム」を立ち上げました。

当時、メンバーは法人内各施設の主任と介護長で、各施設長はオブザーバーの役割でした。

発足後、まずは、人材育成等に先駆的に取り組んでいる他施設への見学や外部セミナーを受講しました。その後、チームミーティングの中で、当法人が取り組むべきことを洗い出し、役職や部署を超えたフラットな視点で目標を定めました。



Action 2 見せることを意識した採用ツールの整備

採用ツールの第一弾として、ホームページに「採用特設ページ」を構築しました。特設ページには、求人情報だけでなく、法人や事業内容の紹介、スタッフからのメッセージ、福利厚生等、求職者が気になる内容を掲載しています。

また、あらゆるチャンネルを活用しようと考え、フェイスブックやインスタ、ブログも開設しました。SMSで情報を発信する際は、ご利用者さんと職員のやり取りなど、リアルな情報を分かりやすく伝えることを意識しています。

さらに、スタッフがカメラを持って施設を案内するバーチャル見学会も開催するなど、職員全員が採用活動に参加する意識を持ってもらいます。



『福祉のしごと』に興味のある方は、福岡県福祉人材センターへ！

福岡県福祉人材センターでは、就職相談・職業紹介をはじめ、就職イベントなどを実施しています。

就職イベント

求職者と求人事業所との出会いの場として就職フェアを実施しています。会場集合型の他、オンライン開催もあります。

職場体験

福祉施設等の事業所に行き、実際の職場の雰囲気や仕事内容を直接体験できます。1日体験から数日間まで、様々なプログラムがあります。

就職相談・職業紹介

福祉の仕事希望の際、仕事内容や資格、勤務条件などの相談や社会福祉施設などの職業紹介を行っています。

入門的研修

介護は未経験の方などを対象に、介護に関する基本的な知識や技術を学べる研修を開催しています。思い立ったら、ぜひ受講してみてください。

福岡県福祉人材センター
春日市原町3-1-7クローバープラザ東棟2階
☎092(584)3310



西部ガスホールディングス株式会社・一般財団法人福岡県職員互助会・福岡県社協による 地域ボランティア活動支援のための助成事業 令和4年度助成団体決定！

本会では、西部ガスホールディングス(株)、(一財)福岡県職員互助会とともに、標記事業を実施しています。

この事業は、住民参加型の地域活動を促進し、人にやさしい社会づくりに資することを目的に、広く社会貢献の心をもってボランティア活動を実施している団体等に対して、1団体あたり最大30万円(2年間)の助成を行っているものです。

令和4年度は、申請があった各団体へのヒアリングや外部有識者等で構成する助成事業審査委員会による審査を経て、28団体への助成が決定し、去る6月15日、クローバープラザにおいて、決定通知書交付式を執り行いました。本助成が福岡県におけるボランティア活動の一層の振興・発展につながることを期待しています。



西部ガスホールディングス株式会社末次総務部長(前列中央)
一般財団法人福岡県職員互助会福原常務理事(前列中央左)
福岡県社会福祉協議会塩川常務理事(前列中央右)

助成団体一覧

■西部ガスボランティア助成プログラム(5団体)

団体名	市町村
フリースペースダイニング	北九州市
まちづくり活性化もじ	北九州市
福岡国際医療福祉大学ボランティア部HANDS	福岡市

団体名	市町村
ふくおか子どものこころサポート研究所	福岡市
Life Wave サポート	古賀市

■一般財団法人福岡県職員互助会ボランティア助成プログラム(10団体)

団体名	市町村
はやめカヌーサポーター会	大牟田市
ブッククラブおおかわ	大川市
一般社団法人ひまわり	筑紫野市
地域ボランティア ほほえみ会	筑紫野市
どんぐり広場	筑紫野市

団体名	市町村
えがおの会	春日市
原町げんき塾	福津市
水巻町運動普及推進連絡協議会	水巻町
こども食堂 食・遊・和「ほとめき」	筑前町
香春みらい塾	香春町

■社会福祉法人福岡県社会福祉協議会ボランティア助成プログラム(13団体)

団体名	市町村
穴生学舎やまびこの会	北九州市
語り朗読「とんどはれ」	北九州市
楽しか隊	福岡市
特定非営利活動法人 サイクルススポーツ九州	福岡市
一般社団法人 PET'S おおむた	大牟田市
里山と暮らそう ゆたか	大牟田市
津古ふるさと会	小郡市

団体名	市町村
ちくしの不登校支援ネット	筑紫野市
特定非営利活動法人 チャイルドケアセンター	大野城市
一般社団法人 螢火	うきは市
ほっとカフェぬくもり寺子屋	糸島市
NPO法人「つどい」えがお食堂	遠賀町
大任町「花と緑の会」	大任町

問い合わせ先 地域・ボランティアセンター TEL 092(584)3377



MENBERS

社会福祉法人 多々良福祉社会

法人本部
部長 満生 剛氏
主任 八木 啓亮氏
本部長 大庭 欣二氏
主任 塩塚 豊氏

現在、人財開発チームは、その業務を法人本部に移管し、4名体制で取組を継続しています。

人財開発チームを立ち上げる前は、当法人の離職率は全国平均より高く、法人として進んでいる方向性も職員に明確に伝えられていなかったため、職員間で仕事に対する意識のズレが生じていました。

人財開発チームを発足してからは、職場改善に向けた取組内容を、職員全員に情報発信し、進捗状況や達成状況などを共有したことで、職員からも「何か変わりそう」と期待感が生まれ、さらに「こういことがしたい」と

いう意見が出るまでに変わってきました。

また、上司と部下とのコミュニケーションが増えたことで、職員の考えを知る機会が増え、職場での問題に気づくことが多くなってきました。発見した問題はそのままにせず、各施設の会議や毎週開催している運営会議で共有するようにしています。

人財開発チームが様々な取組を進めていくことで離職率が下がり、職員の仕事への意欲や満足度が上がっていききました。併せて、近隣地域の清掃活動や買い物支援など地域に根付いた活動を始めたことも、仕事のやりがいを感じる要因の一つになったと思います。

福祉介護分野の人材不足が続く中、コロナ禍により、福祉や医療への就業を希望する求職者が増えたように感じます。しかし、次第に採用の流れが一般企業へシフトしていると感じており、条件や待遇面、指導や教育体制を

より充実させ、他業界にも劣らない法人となる必要性を実感しています。

待遇面の向上による生活基盤の安定はとても大切なことですが、一方で、年収や待遇だけが良くて仕事は続かないと考えています。一人ひとりの職員の「もつとこうすれば職場が良くなるのではないか」という声が少しずつでも実現される職場環境づくりが、採用や定着に繋がるのではないかと思っています。

社会福祉法人多々良福祉社会

平成11年9月27日設立／従業員数175名
現在、福岡市東区に高齢者福祉事業として特別養護老人ホーム・ケアハウス、障がい者福祉事業として障がい者支援施設・グループホーム・相談支援事業所を開設。令和4年に福岡市より基幹相談支援センターを委託

7月開催の
キャンパス・
スマイルに参加の
サポーターの
皆さん



筑紫女学園大学 × 太宰府市

「不登校児童生徒の居場所づくり」

県内の公立小・中学校における不登校の児童・生徒（以下、「子ども」）は、直近の5年間で約1.9倍に増えており、毎年増加傾向にあります。そのような子どもたちに対して、「どのように教育の機会を確保していくか」「どのような支援を行っていくか」が課題となっています。

このような現状と課題を踏まえ、筑紫女学園大学（太宰府市）と太宰府市教育委員会が連携し、令和元年度から取組を開始した不登校の子どもの居場所づくり「キャンパス・スマイル」を紹介いたします。

「キャンパス・スマイル」は、「学校に行きたくない」といけない、「機会があれば学校以外の所で学習したい」と思う市内の小・中学生が安心して過ごせる居場所を大学キャンパス内に作り、自信とエネルギーの回復をめざす取組です。学内の養成講座を受講した約50名の筑女スマイル・サポーター（以下、「サポーター」）が、子どもの伴走者として活動しています。



子どもたちの興味や関心事などの情報を基に、子ども一人ひとりに担当のサポーターをマッチングし、サポーターの空き時間に合わせて、一緒に勉強やゲーム、運動など、子どもの希望に沿った活動を行います。

また、このような個別の支援に加え、太宰府市が設置する『つばさ学級（学習や体験活動などを通して自立や学校復帰を目指す支援・指導をする場所）』の活動の一環として、年に5回程度、サポーターや他の子どもたちと一緒にレクリエーションなどを行う機会も設けています。

7月の『キャンパス・スマイル』では、つばさ学級に通う子どもたちとサポーターがペアになり、木工作品を作成しました。

サポーターに、子どもと接するうえで気をつけていることや活動をおこなったことを伺うと、「子どもたちをよく見てみると、そのようなことに不安を感じているのか分かってきます。その子の個性や興味などに応じた話し方や関わり方を考えています」「不登校は一概に悪いこととは言えず、その子が発した心のサインだと思っています。必要なのはその子の状況に応じた支援を行うことです」と話されました。

子どもたちにとって、大学生と接することが社会参加の一つになっていますが、決して無理をさせることはありません。この取材を通し、子どもにとって、安心して過ごせる居場所とは、単なる「場所」ではなく、安心感を得られる「心の居場所」だと実感しました。

シリーズ キラリ★地域の ふくしびと

このコーナーでは、福岡県内でふくしの仕事に携わる人の声を紹介していきます。今回は、「ふくおかライフレスキュー事業（※）」参加法人の職員にインタビューを行います。

Vol.20

ふくしの仕事を
始めたきっかけは？

私が幼い頃から母の身体が弱く、小学生の頃から買い物や料理、身の回りの手伝いなどをしていました。母の体調が悪化してからは、祖父母が両親の代わりとなり育ててくれました。就職先を決めるときに、母や祖父母と生活していた経験を通じて感じたことや学んだことを活かせる仕事は何かと考え、福祉の仕事しようと思った。

現在の担当業務について

はじめは、宇美町社会福祉協議会の介護職員としてデイサービス開設時から働いていました。平成23年3月に社協が介護事業を終了することになったため、これまでの介護職から地域福祉活動を中心とした業務へと変わりました。

振り返ると、特に業務内容が変わってからの1年間は、これまでに培った知識や経験を十分に活かすことができない中、福祉の様々な分野や事業に出会い、多くの社会資源等を知るたびに「福祉」の奥深さ・範囲の広さを身に染みて感じたことを覚えています。

現在は、ライフレスキュー事業や総合相談、共同募金運動、福祉教育などの業務を担当しています。

今は特に、福祉教育に力を入れ、主に町内の小・中学生、高校生を対象に、高齢者分野や地域福祉、障がい、災害などをテーマとした学習の機会を設けることで、将来、宇美町子どもたちが多様な福祉の視点を持てるように心掛けています。

仕事のやりがいや、
大事にしていることは？

対人援助で相談者に対して最適なサポートができた瞬間や、教育分野で人の成長

めざす「ふくしびと」
とは？

長にかかわれた瞬間など、やりがいはいくらでもあります。どれも福祉、医療、介護、教育、法制度など幅広い知識が必要のため、自分自身が日々成長できるよう、自己研鑽を怠らないように努めています。そして、何よりも地域の方からの「ありがとう」という言葉や感謝の気持ち私を動かす原動力となっています。

また、年々、経験を積むたびに「準備」の大切さを実感しています。個人としての準備も大切ですが、良い仕事をするために、日頃から、職員みんなで協力できる体制づくりや、事前の打ち合わせを含め、目的・段取り・近い未来を想像しながらの準備を大事にしています。こうした働きやすい環境をつくり、いつも相談にのってくれる職員みんなに感謝しています。

社会情勢の変化が、地域福祉の推進にも大きな影響を与えています。これらの新しい変化に柔軟に対応する力が求められているのではないかと感じています。

これからも地域の方に寄り添った支援を心がけていながら、常に新しいことに挑戦し、明るくポジティブな「ふくしびと」になりたいと思っています。

この町の「ふくし」のこころを育て、 「ふくし」の社会を実現していく

井手 達也 さん
いで たつや

事業所名：社会福祉法人
宇美町社会福祉協議会

役 職：管理業務係長

※ふくおかライフレスキュー事業では、福岡県社会福祉法人経営者協議会を中心に、複数法人の連携によって生計困難者等に対する相談支援事業を行っています。



10月1日から「共同募金運動(76回目)」がスタート



令和4年度 赤い羽根キャッチフレーズ(最優秀作品)

支え合い 未来につなげる おくり物

…赤い羽根共同募金



共同募金運動開始

共同募金運動は、民間の福祉活動を支援するため、住民主体の自主的な活動として、昭和22年に全国一斉に「国民たすけあい運動」として始まり、今年で76回目を迎えます。

今年度の「初日街頭募金」は、3年ぶりにボランティアの方々にも協力いただきますが、新型コロナウイルス感染対策には十分配慮し、検温やマスク着用はもとより、大声での呼びかけは行わず、フィジカル・ディスタンス(物理的・身体的距離)の確保に努めたうえで実施します。

また、企業等に協力いただいている法人募金については、例えば、訪問の可否を事前に確認したり、訪問する募金ボランティアや関係者の人数を減らすなど、訪問先の健康と安全を意識して取り組みます。なお、

衛生配慮や非接触に配慮した方法としては、訪問ではなく、文書送付による協力依頼やインターネット募金等を活用するなど、地域の状況に応じた取組を工夫することとしています。

皆様からご協力いただいた募金は、その約75%が集められた地域(市区町村)に還元され、様々な福祉課題の解決を目指して実施される福祉活動に活用されることとなります。具体的には、新型コロナウイルス感染症の影響等による新たな福祉課題への対応をはじめ、「高齢者の見守り・訪問」や「子育て支援」、「障害者の自立支援」などの地域で行われる様々な福祉活動だけでなく、「福祉施設の施設整備」等の地域の福祉活動支援、「大規模災害時のボランティア活動の支援」など、幅広く活用されることが期待されています。

この共同募金の使いみちについては、中央共同募金会ホームページ(赤い羽根データベース「はねっと」)で公開しています。

理解や共感を高めるために

県共同募金会(以下、本会)では、共同募金についての理解や共感を高めるとともに、自分たちも地域の一員であるという意識や責任感を持つてもらえるよう、毎年、県内の小・中・高校・特別支援学校を対象に「赤い羽根キャッチフレーズ」を募集しています。

今年は、37の学校から3,659点の応募をいただき、その中から、須恵町立須恵第一小学校六年の常光こはるさんの作品を最優秀作品に決定し、今年のポスターやチラシ等に掲載するなど、共同募金運動の広報・啓発に活用しています。

共同募金の仕組みと現状

本会では、毎年、民間の社会福祉活動を行う団体などからの申請をもとに配分計画を立て、その計画に基づく事業を実施するために必要な額を「目標額」として掲げ、募金活動を行っています。

しかし、共同募金運動を取り巻く環境は厳しさが増しており、本県の募金実績は全国同様、平成11年をピークに年々減少が続き、この10年間は7億円台を確保してききましたが、一昨年度から続くコロナ禍の影響を大きく受けたこともあり、令和2年度以降は、7億を下回る厳しい結果となっています。

今年度の共同募金運動の推進に、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



ハリーホークコラボバッジ

今年の鷹の祭典のユニフォームを着用したハリーホークと赤い羽根がコラボした他では手に入らないバッジです!!

※詳しくは、本会HPでご確認ください。

赤い羽根応援大使

共同募金運動を県域でアピールし、応援いただく方を増やすため、福岡県民に絶大な人気を誇る福岡ソフトバンクホークス球団の全面的なご支援のもと、今年度から新たに笠谷俊介選手とリチャード選手に本会の「赤い羽根応援大使」にご就任いただきました。

今後は、本県における共同募金運動の「顔」となって、広報啓発等にご協力いただきます。



令和4年度のポスター

記者発表会(表紙写真)

去る9月2日、福岡ペイペイドームで、ポスター・キャッチフレーズ等の記者発表会を行いました。今年の最優秀作の作者である常光さんからは、「人はひとりで生きることは難しいこともあります。募金をすることで未来をつくる第一歩に

福岡ソフトバンクホークス様から寄付金をいただきました

福岡ソフトバンクホークス株式会社様から社会貢献活動の一環として、現在コロナ禍にある社会状況に鑑み、「九州を元気にしたい」という趣旨のもと、今年2月、中央共同募金会を通じ、九州8県の共同募金会にご寄付をいただきました。いただいた寄付金は、コロナ禍でお困りの方を含め、地域の子どもたち、高齢者、障がい者のための地域福祉活動に有効に活用させていただきます。



ありがとうメッセージのご紹介

特別養護老人ホーム水月吉井

この度、共同募金からの配分により新しい車両を配置することができました。今まで以上に一層利用者様の安心・安全な送迎業務が可能となりました。募金していただきましたすべての皆様に深くお礼申し上げます。皆様からいただいたご支援を無駄にすることがない様、安全運転と適切な整備を心がけ日々の送迎、受診、買い物、地域貢献活動等と十分に活用し、地域での介護サービス活動を展開していき「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」の実現に向け職員一同努力を重ねてまいります。



宇美町社会福祉協議会

この度は、共同募金からの配分をいただき、心より感謝申し上げます。配分金は、生活困窮者支援のためのアウトリーチ用車両として活用させていただきました。生活福祉資金特例貸付をご利用された世帯であっても、今なお生活困窮状態が続く世帯は多く、自立に向けた伴走的な支援が必要です。そのための活動車両を整備することができました。本当にありがとうございました。



寄付・寄贈の御礼

(株) 瀬利宗助商店様
からの寄附

去る7月24日に瀬利宗助商店様から多額の寄附をいただきました。いただいた浄財は県内社会福祉の推進に有効に活用させていただきます。誠にありがとうございました。

催し

①福祉のしごと就職フェア (WEB版)

ZOOMを活用したオンラインの「福祉のしごと就職フェア」を開催します。参加方法など詳しくは福祉人材センターホームページをご確認ください。

開催日	第3回	10月14日(金)
	第4回	11月5日(土)
	第5回	2月18日(土)
	第6回	3月18日(土)
	13時から16時(各回共通)	



②福祉の職場ホリディガイダンス

各地区での福祉の職場の就職面談会を次の日程で開催いたします。

■筑後地区開催	日時	10月8日(土)
		13時～15時30分
	場所	久留米シティプラザ(久留米市)
■筑豊地区開催	日時	10月9日(日)
		14時～16時
	場所	近畿大学九州短期大学(飯塚市)

①～②の催しについて

問い合わせ先 福祉人材センター
TEL 092(584)3310

福祉人材センター
ホームページ



※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、予定の内容を変更または中止することがあります。その場合は本会ホームページを通じてお知らせいたします。

中国帰国者支援のためのボランティア研修会「まなびや」

内容

戦後75年が経過し戦争の記憶が薄れる中、今一度中国残留邦人等の歴史的背景を知り、中国帰国者の現状を踏まえ、帰国者と地域のつながりについて考えます。

日時 10月22日(土)
13時～15時30分

場所 りり色ふるさと館
(うきは市吉井町 983-1)

参加費 無料

詳しくは九州中国帰国者支援・交流センターにお問い合わせ下さい。

申し込み
問い合わせ先 九州中国帰国者支援・
交流センター
TEL 092(589)6667

九州中国帰国者支援
センターホームページ



研修・講座

①リスクマネジメント研修 (指導者・管理職員コース)

内容

福祉施設における事故を防止するため、リスクマネジメントの基本やヒヤリハット報告書の具体的な運用方法、事故発生時の対応等について

日程 B日程 11月30日(水)
12月1日(木)

場所 クローバープラザ(春日市)

対象 社会福祉施設および社協の管理職やリーダー等指導的立場にある者

定員 各日程80名

受講料 10,000円(2日間)

申込 福祉・介護研修センター
HPで確認

②報・連・相強化研修

内容

職場内での状況認識の誤りや、組織対応の遅れなどのリスクを回避するため、「報・連・相」の目的や判断基準、部下への指導ポイント等について

日程 A日程 11月9日(水)
B日程 11月10日(木)

研修方法 オンライン研修

対象 社会福祉施設および社協の管理職やリーダー等指導的立場にある者

定員 各80名

受講料 5,000円

申込 福祉・介護研修センター
HPで確認

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各研修を延期、中止する場合があります。

①～②の研修について

問い合わせ先 福祉・介護研修センター
TEL 092(584)3401

福祉・介護研修センター
ホームページ



募集

ボランティアを募集しています

内容

中国帰国者を対象にした交流講座で、帰国者の皆さんと日本語で会話をしながら交流していただける方を募集しています。

講座① 日本語サロン
月1回 日曜日

講座② ボランティアさんと楽しむ
「脳トレ」教室
月1回 水曜日

詳しくは九州中国帰国者支援・交流センターにお問い合わせ下さい。

問い合わせ先 九州中国帰国者支援・
交流センター
TEL 092(589)6667

九州中国帰国者支援
センターホームページ



福祉・介護職員の福利厚生はソウェルクラブにおまかせください！

ソウェルクラブ(福利厚生センター)では、社会福祉事業・介護保険事業に従事する方の福利厚生を全国で展開し、スケールメリットを活かすことにより、充実したサービスを提供しています。

ソウェルクラブの10大サービス

- ①生活習慣病予防検診費 4,000円助成
- ②慶事のお祝い品(結婚、出産、入学) 1万円または5千円の商品券を贈呈
- ③弔慰金 会員死亡60万円(就業中は180万円) 配偶者死亡10万円
- ④健康生活用品給付 毎年全会員に給付
- ⑤永年勤続記念品 勤続5～30年及び35年以上の退職者に贈呈
- ⑥資格取得 5千円相当の記念品贈呈
- ⑦各種講習 受講料・教材費無料
- ⑧ソウェルクラブ「クラブオフ」 ホテル、レジャー施設、飲食店など20万件以上の優待サービスが利用可能
- ⑨クラブ・サークル活動 1人あたり1,000円助成

⑩福岡県独自事業	会員価格
ハウステンボス1DAYパスポート 大人¥7,000	¥5,600
マリンワールド入場券 一般¥2,350	¥1,400
映画観賞券 大人¥1,800	半額
各種コンサートチケット、劇団四季、博多座等の人気観劇、アンパンマンミュージアム・美術館・博物館等の入場券等	約20%～30%割引
※令和3年度事業の一例	

問い合わせ、資料請求等はこちら

社会福祉法人 福岡県社会福祉協議会
TEL 092(584)3330
社会福祉法人 福利厚生センター
TEL 0120(292)711

ソウェルクラブHP
<https://www.sowel.or.jp/top.php>

広報誌・ホームページバナーの広告募集

ふくおかのふくし広告募集

- [掲載紙名] 広報誌 ふくおかのふくし
[発行部数] 毎号20,000部発行
県内社会福祉施設、団体
民生委員児童委員、中央公民館等
[発行回数] 年4回
[サイズ] ご希望の枠数をお選びいただけます。
掲載はP9、P10のどちらかになります。

区分	大きさ	掲載料(1回あたり)	
		会員	非会員
1枠	縦6cm×横8cm	40,000円	70,000円
2枠	縦6cm×横14cm	80,000円	140,000円

ホームページバナー広告募集

- [掲載位置] トップページ下段バナー部分
[閲覧者数] 月平均1万人
[募集枠] 5枠
[サイズ] 縦60ピクセル×横120ピクセル
[画像形式] GIF形式またはJPEG形式
[基準・条件] 本会バナー広告掲載要綱を遵守していただきます。

掲載期間	掲載料	
	会員	非会員
1カ月	5,000円	10,000円
6カ月	26,000円	52,000円
12カ月	50,000円	100,000円

広告に関する申込み・問い合わせ先

企画広報室 TEL 092(584)3377 / FAX 092(584)3369

